

2023

10

October

No.252

JA とまこまい広域

JA
とま
こまい
広域

SANSAN
光り輝く

5年度 北海道枝肉共励



特集

(有)富樫オークファーム 優秀賞1席に輝く
北海道枝肉共励会肉豚の部

優秀賞1席を獲得した、(有)富樫オークファーム代表富樫瑛一郎さん①、宮田組合長②、松久参事③

JAとまこまい広域広報誌
燐々～光り輝く～
No.252

■編集・発行■

TEL 0145-272241 FAX 0145-273941

JAとまこまい広域本所
北海道勇払郡厚真町錦町10番地2令和5年10月10日
ホームページアドレス <http://www.ja-tomakomai-kouiki.com>
メールアドレス info@ja-tomakomai-kouiki.com

印刷 ■ 株式会社 須田製版

林修先生と学ぶ「国消国産」講座

Lesson
7農業が持つ
多面的機能という価値
次の世代につなげていくためになぜ今?
国消国産

中山間地域の自然も生かした農業や食が日本の特色



JAグループサポートー・林修

日本は食料の約6割を輸入に頼っています。米国や豪州などは、広大な農地でその規模に合った大型機械を使って農業をしていますが、なぜ、日本では同じ方法で自給率を上げることができないのでしょうか。それは、日本は起伏の激しい中山間地が多く、広大で平坦な土地が少ないためです。国土面積の約7割を中山間地域が占めている日本では、標高差や豊富で良質な水資源などの自然を生かした農業を展開しています。



出典：日本は「平成29年農業構造動向調査」、米国は「Farms and Land in Farms 2016 Summary」(米国農務省)、豪州は「Agricultural Commodity Statistics 2016」(豪州農業省)

農業が持つ食料生産以外の
重要な役割「農業の多面的機能」

農業は、食料を生産するだけでなく、「農業の多面的機能」という重要な役割も果たしています。中山間地域など斜面に畑や水田があることで、川の洪水や土砂崩れを防ぎ、また、市街地や都市の農地は気温上昇を抑えたり、災害時の防災空間になるなど、多くの機能を発揮しています。さらに、多くの生き物のすみかになり、美しい景観を生み出しています。

農業の多面的機能

農林水産省(https://www.maff.go.jp/j/nousin/noukan/nougyo_kinou/img/zentai02.jpg)の図を加工して作成だから今!
国消国産
「国消国産」で
「農業の多面的機能」の持続を

普段は気づきにくい「農業の多面的機能」ですが、中山間地や都市部を問わずに、私たちの生活や自然環境をしっかりと守ってくれています。「國」民が必要とする「消費」する食料は、できるだけその「國」で生「產」するという「国消国産」の大切さを、私たち一人ひとりが意識して、「農業の多面的機能」を次の世代につなげていくことが重要です。

ここがポイント!

- ① 日本の国土の約7割は中山間地域、その地形に適した農業を展開
- ② 農業は国土の保全、多様な生態系維持など「多面的機能」を発揮
- ③ 「国消国産」で、「農業の多面的機能」を持続可能なものに



耕そう、大地と地域のみらい。JAグループ

燐

SANSAN
光り輝く

No.252 CONTENTS

- 01 特集 (有)富樺オーカーファーム 優秀賞1席に輝く
北海道枝肉共励会肉豚の部
- 03 カメラレポート
- 07 「食育」を通して管内食材をPR
サッカー少年たちの農畜産物の知識を深める
- 08 震災から5年、震災を決して風化させないために
・角田農林水産大臣政務官
北海道酪農経営現地視察に来る
- 09 理事会報告
- 10 期待の農力 吉岡博和さん
- 11 ワンポイント営農情報
- 12 あぐり講座
- 13 JAからのお知らせ
- 14 ・当管内から「ゆめびりかの匠」に選ばれる
・令和5年11月からの営業時間一覧表

裏表紙 林修先生と学ぶ「国消国産」講座 Lesson7



令和5年度 北海道枝肉共励会で優秀賞1席を獲得した(有)富樺オーカーファーム代表の富樺瑛一朗さんと宮田組合長④、松久参考官



▲肉豚の断面



▲展示講評全体の様子



▲トロフィーを受け取る富樺瑛一朗さん

順位	農協名	受賞者
最優秀賞	JA当麻	(有)イートン
優秀賞	1席 JAとまこまい広域	(有)富樺オーカーファーム
	2席 JA鹿追町	かみむら牧場(株)
	3席 JAとうや湖	(有)フロイデ農場



▲授与式前に行われた入賞枝肉展示講評の様子(有)富樺オーカーファーム

審査授与式でホクレン農業協同組合が主催する令和5年北海道枝肉共励会肉豚の部の表彰式が安平町にある(株)北海道畜産公社早来工場で開催された。全道から84頭の豚が出品され、(有)富樺オーカーファームが優秀賞1席に輝き、JAとまこまい広域としては昨年の(有)希望農場に続き2年連続で優秀賞の受賞となつた。同共励会は昭和52年から開催され、46回目を迎えた本年の最優秀賞にはJA当麻の(有)イートンが選ばれた。

褒章授与式でホクレンの矢野佳久専務理事は「生産者やJAの皆様と価値ある肉豚生産を推進すると共に道内外での安定販売や輸出拡大の取り組みを強化し、生産者たちの期待に応えるために尽力します」と篠原末治共励会会長(ホクレン代表理事会長)の挨拶を代読した。

同共励会は、雄3頭 雌3頭がセットで出品し6頭の評価で序列が決定される。(有)富樺オーカーファームは6頭全てを等級の上位である「上」で揃え、特に「肉量が豊富」なことが評価され、今回の優秀賞1席に選出された。

授与式に出席した(有)富樺オーカーファーム代表の富樺瑛一朗さんは「今年は8月に入り北海道も猛暑が襲い食欲のない豚の肥育管理などに苦労したが、今回受賞することができ頑張りが報われた。来年も高評価いただける豚の生産に励みたい」と受賞の喜びと今後の抱負を語った。

審査委員長を務めた(公社)日本食肉格付協会北海道支所長の宝谷浩氏は審査講評で「今年から豚枝肉規格が変更され等級決定項目が数値化されています。この結果を見ていただけ、良い部分は伸ばしていただき悪い部分は改善していくだければ、道内の肉豚の品質は向上していくと思います」と述べた。

9月8日、ホクレン農業協同組合が主催する令和5年北海道枝肉共励会肉豚の部の表彰式が安平町にある(株)北海道畜産公社早来工場で開催された。全道から84頭の豚が出品され、(有)富樺オーカーファームが優秀賞1席に輝き、JAとまこまい広域としては昨年の(有)希望農場に続き2年連続で優秀賞の受賞となつた。同共励会は昭和52年から開催され、46回目を迎えた本年の最優秀賞にはJA当麻の(有)イートンが選ばれた。

褒章授与式でホクレンの矢野佳久専務理事は「生産者やJAの皆様と価値ある肉豚生産を推進すると共に道内外での安定販売や輸出拡大の取り組みを強化し、生産者たちの期待に応えるために尽力します」と篠原末治共励会会長(ホクレン代表理事会長)の挨拶を代読した。

同共励会は、雄3頭 雌3頭がセットで出品し6頭の評価で序列が決定される。(有)富樺オーカーファームは6頭全てを等級の上位である「上」で揃え、特に「肉量が豊富」なことが評価され、今回の優秀賞1席に選出された。

授与式に出席した(有)富樺オーカーファーム代表の富樺瑛一朗さんは「今年は8月に入り北海道も猛暑が襲い食欲のない豚の肥育管理などに苦労したが、今回受賞することができ頑張りが報われた。来年も高評価いただける豚の生産に励みたい」と受賞の喜びと今後の抱負を語った。

審査委員長を務めた(公社)日本食肉格付協会北海道支所長の宝谷浩氏は審査講評で「今年から豚枝肉規格が変更され等級決定項目が数値化されています。この結果を見ていただけ、良い部分は伸ばしていただき悪い部分は改善していくだければ、道内の肉豚の品質は向上していくと思います」と述べた。



▲イモ掘りを楽しむ様子(すてっぷ組)

学校法人リズム学園はやきた子ども園は、食育活動に力を入れており、5月には園内の田んぼで田植え体験が行われ、9月12日に、同じ田んぼで稻刈り体験と14・15日には、安平町の安平地区にある近藤健一さん(49歳)の畑でイモ掘り体験がそれぞれ行われた。稻刈りを始める前に、はやきた子ども園の袖田先生から「取った後乾かしやすいように長く切ってね。刈った稲は、受け取る人に渡して、受け取った人は長さを揃えて運んでね」とジェスチャーを交えながら説明があった。園児達は、元気一杯に裸足で田んぼに入り、ハサミを器用に使いながら一生懸命作業を進め、最後は泥まみれになりながらも無事に体験を終えた。稻刈りの後に、はさかけが行なった。近藤さんは、「田舎でしか出来ない体験をしてもらつて、楽しんでもらえて良かった」と笑顔を見せた。



▲刈った稲を持って集合写真(じゃんぶ組)



▲大型のハーベスターでの収穫の様子(安平町早来)

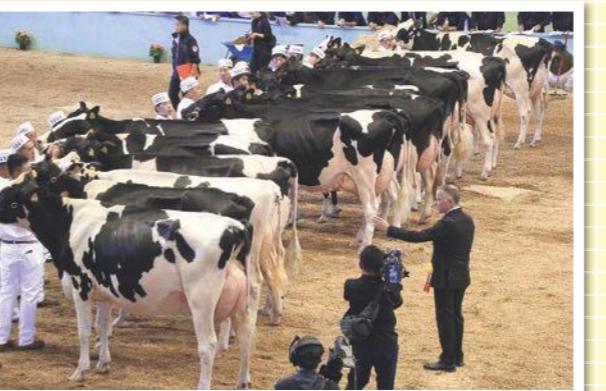
JAとまこまい広域野球部は9月5日～6日にかけて行われた、全道JA野球大会に出場した。地区大会を勝ち抜いたJA道央と系統のJA共済連北海道を加え15チームが熱戦を繰り広げた。

地域の話題を
パチリと

カメラレポート

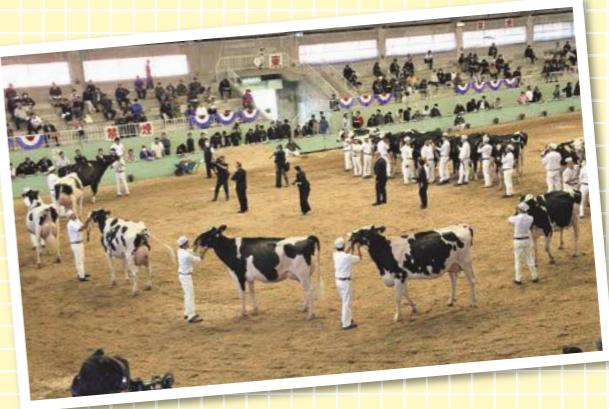
当管内から3頭の乳用牛が出品される

第18回北海道総合畜産共進会



▲順位決定の瞬間

9月23日～24日にかけて安平町の北海道ホルスタイン共進会場で第18回北海道総合畜産共進会(乳用牛の部)が開催された。全道各地から地区予選を勝ち抜いたホルスタイン種390頭、ジャージー種36頭、ジユニアカップ17頭が一堂に会し、最高位のグランプリヤンピオンを目指し共進会に挑んだ。オフィシナルジャッジはアメリカの酪農家パート・コノロイ氏、アソシエートジャッジを北海道ホルスタイン農業協同組合の田井道広審査部長が務め審査を行つた。



▲審査の様子

当管内からは第13部のシニア3歳クラスに苫小牧市の有溝口牧場「リバーサイドスカイキックフタゴ」が3等賞8席、第14部の4歳クラスに苫小牧市の五十嵐貴満氏「リツチモンドLT Mプロラミー」が2等賞6席、厚真町の山田耕司氏「オーシャンカレンハーベン」が2等賞11席を受賞した。

同共進会は、ホルスタイン種の改良と酪農技術の向上を図り、酪農経営の安定に寄与することを目的として開催している。

早来

食育活動に力を入れる

はやきた子ども園 稲刈り・イモ掘り体験

苫小牧・早来 追分・厚真

地域農業の安定化を図る

「らくのう」デントコーン収穫

8月23日より、農事組合法人「らくのう」(谷口隆昌組合長)によるデントコーンの収穫作業が始まった。

農事組合法人「らくのう」は、JAとまこまい広域管内における酪農及び各農業分野の生産者によつて構成され、ハーベスター等を導入し、集団共同利用するこ

とで農作業効率化、労働生産性向上と地域農業の安定化を図る目的で設立されたコントラクターで、取組開始から9年目を迎える。

今年度の収穫作業面積は、苫小牧地区・早来地区・追分地区・厚真地区 計18件分で約277haあり、自走式ハーベスターで刈り取られ細断されたデントコーンは、大型ダンプ等で各生産者のもとへと運ばれ、サイレージへ調製されている。

今年の作柄について担当者は、「高温の影響により例年よりも熟期が進み、茎が細く、収量は平年よりも少なく見込んでいた。また、枯れ上がりも進んでいるので、早めの収穫を心がけ、少しでも良質なデントコーンの確保に努めたい」と話す。

作業は順調に進み10月中旬まで行われる。



▲ヒットを打つ佐々木選手

大会当日は、前日から降り続く雨の影響で試合時間が1時間30分繰り下がつた。初戦の相手は、JAきたみらい。2回裏の守備では、デツドボールやフォアボールなどで出塁を許し2点先制される。続く3回裏にも1点を加えられてしまふ。当野球部の攻撃は相手投手の巧みな緩急により3本のヒットに抑えられ、無得点のまま試合は終了となつた。

試合終了後は、応援に駆けつけた役職員が選手たちの健闘を称え大きな拍手を送つた。



▲好投を見せる、ホクレン苫小牧支所の笠原投手

広域

J Aきたみらいとの初戦で敗退

第61回全道JA野球大会出場



▲交流を深める参加者たち

活動推進委員長を務める渡部勇樹さんは「様々な制限や困難を乗り越え、4年ぶりに開催できてうれしい。これからも青年部とJA職員で力を合わせて農業を盛り上げていきたい」と意気込みを語った。

参加した職員は「終始話題が尽きることなく、仕事の話以外にもプライベートの話で盛り上がり親睦を深めることができた。これからもより良い関係を築いていきたい」と感想を語った。



▲盛り上がりをみせたbingo大会

厚真

JAとまごまい広域青年部厚真支部
「顔見せよう会」

青年部員とJA若手職員が交流

8月25日、JAとまごまい広域青年部厚真支部（畠嶋宏謙支部長）は、厚真町のJA倉庫内にて「顔見せよう会」を開催し、青年部員とJAの若手職員あわせて40名が交流を深めた。

約4年ぶりに開催された同会は、炭を囲んでJAのオリジナルジグスカンを堪能し、青年部員が各自景品を持ち寄つたピンゴ大会も開催され、会場は終始にぎやかな雰囲気に包まれ盛況のうちに終了した。



▲初出荷された米を検査する検査員

令和5年産米の初検査が9月12日、JAとまごまい広域穂別支所米検査場にて行われ、安住地区の田代大輔さん（34歳）が初出荷を飾った。

当日は、「ななつぼし」126袋（30kg袋）が検査され、全量1等米という幸先の良いスタートとなつた。

本年の水稻は、育苗期間中、日照時間、気温ともに良好に推移し、苗の生育は平年並みであった。移植後も好天に恵まれ、



▲初出荷を飾った、田代大輔さん

穂別

令和5年産米初検査

幸先の良いスタート

活着が順調だつたため、その後の生育は良好となつた。6月から8月にかけて高温・多照傾向で推移し、登熟が進んだことで例年より早い稻刈りが始まつた。

初出荷に合わせて行われたセレモニーでは、宮田広幸組合長の他、各関係機関が出席し、田代さんには記念品を贈呈した。

初出荷に際し田代大輔さんは「今年は暑かつたため、管理作業は苦労したが、美味しいお米を消費者に提供できれば嬉しい」と話した。

JAとまごまい広域は8月28日から29日にかけ昨年厚真支所に入組した吉野智貴職員（25歳）は、厚真町富里地区の水稻と畑作を中心に經營する石井幸秀さん（35歳）の下で農作業研修を行つた。

JAでは、採用から退職までの階層別に必要とする知識や技能習得を目指し教育研修を実施することが人事労務規定で定められている。今回の農業研修は入組1年目から3年目までの若手職員が対象となる。3年間の内に管内で生産される蔬菜・畜産・耕種部門へ一度、農作業研修を通して農業の理解促進と組合員との交流の場を設けることを目的に実施されている。

地域の話題を
パチリと

カメラレポート



加工馬鈴薯収穫開始

カルビーポテトチップス原料



▲収穫の様子

JAとまごまい広域は8月28日から29日にかけ昨年厚真支所に入組した吉野智貴職員（25歳）は、厚真町富里地区の水稻と畑作を中心に經營する石井幸秀さん（35歳）の下で農作業研修を行つた。

JAとまごまい広域は8月28日から29日にかけ昨年厚真支所に入組した吉野智貴職員（25歳）は、厚真町富里地区の水稻と畑作を中心に經營する石井幸秀さん（35歳）の下で農作業研修を行つた。

JAとまごまい広域は8月28日から29日にかけ昨年厚真支所に入組した吉野智貴職員（25歳）は、厚真町富里地区の水稻と畑作を中心に經營する石井幸秀さん（35歳）の下で農作業研修を行つた。

JAとまごまい広域は8月28日から29日にかけ昨年厚真支所に入組した吉野智貴職員（25歳）は、厚真町富里地区の水稻と畑作を中心に經營する石井幸秀さん（35歳）の下で農作業研修を行つた。

JAとまごまい広域は8月28日から29日にかけ昨年厚真支所に入組した吉野智貴職員（25歳）は、厚真町富里地区の水稻と畑作を中心に經營する石井幸秀さん（35歳）の下で農作業研修を行つた。

JAとまごまい広域は8月28日から29日にかけ昨年厚真支所に入組した吉野智貴職員（25歳）は、厚真町富里地区の水稻と畑作を中心に經營する石井幸秀さん（35歳）の下で農作業研修を行つた。

厚真

農畜産物の生産現場を肌で感じる

若手職員農作業研修を実施



▲カボチャ収穫の様子

JAとまごまい広域は8月28日から29日にかけ昨年厚真支所に入組した吉野智貴職員（25歳）は、厚真町富里地区の水稻と畑作を中心に經營する石井幸秀さん（35歳）の下で農作業研修を行つた。

JAとまごまい広域は8月28日から29日にかけ昨年厚真支所に入組した吉野智貴職員（25歳）は、厚真町富里地区の水稻と畑作を中心に經營する石井幸秀さん（35歳）の下で農作業研修を行つた。

JAとまごまい広域は8月28日から29日にかけ昨年厚真支所に入組した吉野智貴職員（25歳）は、厚真町富里地区の水稻と畑作を中心に經營する石井幸秀さん（35歳）の下で農作業研修を行つた。



▲収穫したカボチャ（1基：約500kg）

震災から5年、震災を決して風化させないために



▲追悼式で式辞を述べる宮坂町長

厚真町総合福祉センターで9月2日、2018年9月6日未明に道内初の震度7を観測し、震災関連死を含め44名が犠牲となつた地震から5年経過を前に「令和5年北海道胆振東部地震厚真町追悼式」が開催され、被災した家族や町民ら総勢262名が参列した。

追悼式が執り行われるに当たり宮坂尚市朗厚真町長は「災害復旧・復興にまい進するとともに、挑戦を諦めない町として未来創生と持続的発展に向けた歩みを町民一丸となって進めてまいります」と式辞を述べた。

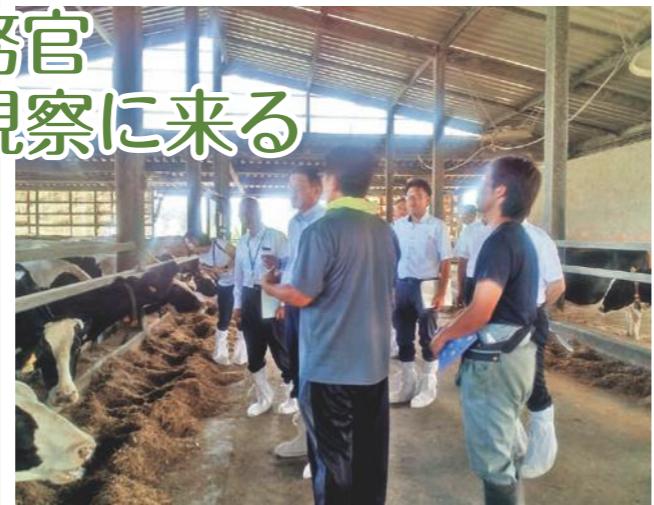
父の武司さん(当時86歳)と母の富子さん(当時81歳)を亡くした畠島武夫さん(61歳)は遺族を代表して「大切な人やモノを失つてようやく、備えることの大切さを学びました。災害はいつか必ず起きることを後生に伝え、備えを怠つてはならない」と述べた。

その後、献花台へ遺族や町民らによって花が手向けられた。

角田農林水産大臣政務官 北海道酪農経営現地視察に来る

去る8月23日、角田農林水産大臣政務官、廣岡畜産局飼料課長、阿南畜産局牛乳乳製品課専門官らが、北海道酪農経営における現地状況を確認するため安平町入りし(有)金川牧場を視察した。

今回目的は、食料安全保障の観点から今後本格化する食料・農業・農村基本法を巡る議論の加速化が求められ、国内外の情勢に影響を受け特に酪農は飼料価格の高騰などにより厳しい状況にあることから現地農家への視察が実施され



▲金川代表が状況を説明する様子①

た。そこで、国産飼料の生産・利用の拡大に向け中長期的な課題を農水省全体で検討する上での情報収集として、実際に自給飼料生産に取り組んでいる酪農経営の実態把握が行われた。

金川幹夫代表取締役より牧場の概要、安平町における畑作農家と連携した耕畜連携の取組み、酪農の飼料高騰、猛暑の対応についての説明があり、角田政務官も興味深く聞き入った。

牧場施設内で限られた時間ではあったが、角田政務官らとの意見交換であり有意義な視察となった。



▲金川代表が状況を説明する様子②

「食育」を通して管内食材をPR サッカー少年たちの農畜産物の知識を深める



▲参加した児童たちと(安平町で)

JAとまこまい広域は少年サッカー大会を通して「食育」活動を推し進めている。この取り組みは地元のサッカークラブと連携を図り、次世代を担う子どもたちや親の世代をターゲットに地域農業の役割や重要性を伝え、JAと地域社会の関係の構築を目的に2016年から安平町はだしの広場で開催する。震災やコロナ禍での中断を余儀なくされながら、今年で5回目を迎えた。

開催に当たり主催者を代表して堀弘幸専務は「JAと農家は食育の根底にある食料生産で多くの人たちの命を守る責任があります。皆さんも農畜産物を食べなければ健やかに成長することができません。今回の大会を通じ「食」と「農」の知識を深め、農畜産物を生産した方々に感謝の気持ちを持ってご飯を食

べてもらいたい」と挨拶した。

試合開始前に農業関連イベントを開催し、農作物に関する○×クイズを出題したほか、管内で収穫されたジャガイモの詰め放題を実施。子どもたちは遊びながら「食」と「農業」の知識を深めた。参加した子どもからは「ゴボウは本当に日本でしか食べられてないの?」など出題された問題に対する疑問が投げられた。

同大会はU-12が8チームとU-8が4チーム参加し8人制ルールが適用され、年代ごとに分かれ1ブロック4チームとしてグループで戦い上位2チームが決勝トーナメントへ進出。U-12はShiraoiがDATEをPKで、U-8でAreareaFCがFelireFCを下し優勝を飾った。



▲農業関連○×クイズの様子(安平町で)



▲ゴールを目指してU-8(安平町で)



▲当農協から提供したジャガイモを拾う児童(安平町で)



▲U-12順位 左から 1位 Shiraoi、2位 FC DATE、3位 Felire FC 敢闘賞 北斗(安平町で)



期待の農力



よし おか ひろ かず
吉岡 博和さん(46歳) 厚真町豊丘

博和さんは、「JAとまごまい広域合併後、1期目の職員として穂別支所へ配属。その後は普及センターへ出向、早来支所を経て本所のクリーン農業係として勤務。農業係としては、宮農指導のほか温湯消毒施設や土壤診断センタ－の立ち上げなどに従事した。17年務めたJAを退職して5年。震災復興とともに農業に励んでいる。

今後の目標

時代の交流から株式会社ホクサンの推進員として管内の農家へ情報提供を行っていくといふ。

博和さんは「職員時代（

付けが、今では水稻15 ha、大豆22 ha、でん菜8 ha、秋まき小麦10 ha、春まき小麦10 haの合計65 haの経営規模へ成長した。旧豊丘の名称の「のやすべ」を法人名にするなど、愛着のある地元の活性化に乗り出している。

理事会報告

令和5年8月8日(火)に総合営農センターで第8回理事会が開催され、次の事項について報告、協議、承認がされました。



1. 一般報告と当面する諸行事について
 2. 6月末財務報告について
 3. 8月1日現在、農作物の作況について
 4. 組合員の異動について
 5. 固定資産の取得、処分について
 6. みのり監査法人期中監査・結果概要について



- ## 1. 役員道内視察研修について



- 議案第 1 号 職制規程の業務分掌表及び職務権限表の変更について
 - 議案第 2 号 旅費・実費弁償規程の一部変更について
 - 議案第 3 号 出資減口と譲渡について
 - 議案第 4 号 理事への貸付について



令和5年9月6日(水)に総合営農センターで第9回理事会が開催され、次の事項について報告、協議、承認がされました。



- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| 1. 一般報告と当面する諸行事について | 12. 5年産地交付金メニューについて |
| 2. 7月末財務報告について | 13. JAとまこまい広域杯少年サッカー大会について |
| 3. 組合員の異動について | 14. 令和5年産新米贈呈について |
| 4. 固定資産の取得・処分について | 15. 令和5年産新米キャンペーンについて |
| 5. 第2四半期余裕金運用について | 16. 5年産小麦の調製状況について |
| 6. 外部出資先の経営概況について | 17. 5年度家畜共進会・枝肉共励会の結果報告について |
| 7. 令和5年度7月期(半期)ディスクロージャー誌について | 18. 生乳に係るJAグループ意見集約について |
| 8. 管理委員会の結果報告について | 19. コンプライアンス委員会報告について |
| 9. 生産委員会の結果報告について | 20. 経営定期点検の結果について |
| 10. ALM委員会報告について | 21. 要対策組合員資産状況確認結果 |
| 11. 内部監査の結果について | 22. 大口貸出先上位50件の経営状況報告 |
| | 23. 信用供与50,000千円を超える組合員の経営状況報 |



1. 5年産米集荷販売に係る取組方針について
 2. 5年産特定米穀の集荷取扱要領について
 3. 5年産小豆・大豆等の集荷取扱要領について
 4. 第2四半期仮決算(収支予測)について



- 議案第 1 号 取引のリスク評価書の改正について
 - 議案第 2 号 人事管理制度変更に伴う職制規程、職員就業規則、人事考課規程、給与規程、退職給与規程の一部変更
および職群転換要領の廃止について
 - 議案第 3 号 出資の減口と譲渡について
 - 議案第 4 号 理事へのリース貸付について



大切な家畜を 病気から守るために、 あなたができること

本年は高温が続き、家畜のサルモネラ症や熱中症などの発生が増えました。この影響から生産性が低下しましたが、涼しくなり暑熱によるストレスは徐々に回復しているところです。これからも様々な病気が発生しないよう継続して衛生管理に努めましょう。

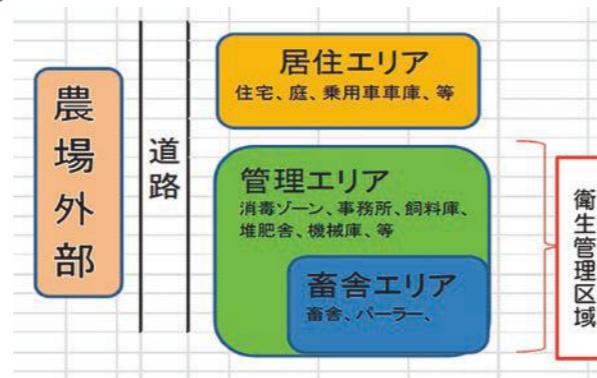
* * * 家畜、畜舎設備等を清潔に保ち、家畜が健康を保てるような対策を! * * *

<家畜の病原体を拡大させない3原則>

- 1 持ち込まない
- 2 広げない
- 3 持ち出さない

特に気をつけるポイント!

- ① 手の消毒
- ② 靴の履き替え、消毒
- ③ 車両の消毒
- ④ 野生動物等の侵入防止
- ⑤ 異常家畜の早期発見



手の消毒は病原体の拡散を防ぎます。



消毒槽の設置と長靴の履き替えはとても重要です。



衛生管理区域の出入り口に石灰消毒帯を設置しましょう。



飼槽やウォーターカップの清掃と消毒をこまめに行いましょう。



防鳥ネットを隙間なく設置して野生獣害の侵入を防ぎます。



車両消毒は病原体が付着やすい所を重点的に行います。



ワンポイント営農情報

東胆振地域における土壤の特徴と対策②

とまこまい広域で土壤分析している土の約80%は砂壤土及び砂土。特徴は、粒子が粗く、有機物が少ない。

物理性・化学性改善対策→稻わらや緑肥、前作物のすき込み、堆肥等の有機物の施用が効果的。

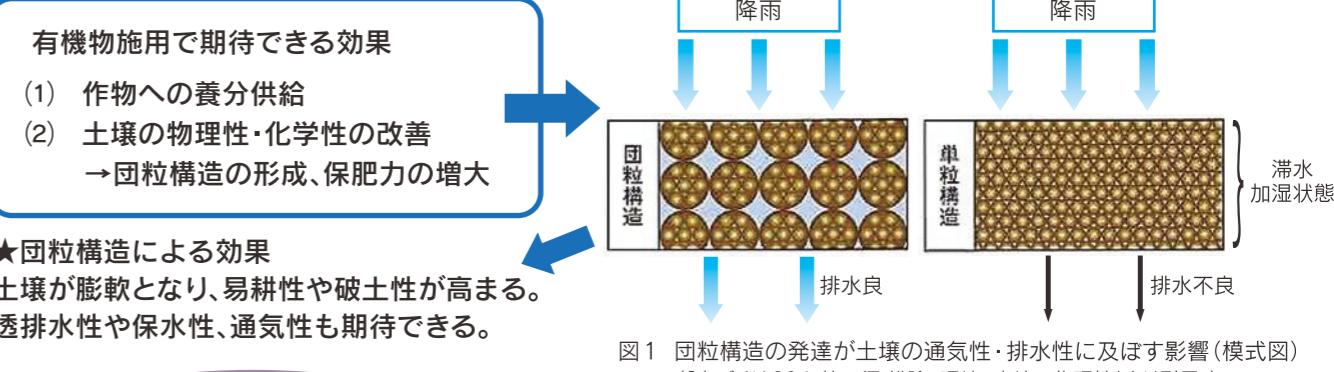


図1 団粒構造の発達が土壤の通気性・排水性に及ぼす影響(模式図)
(「土づくりQ&A 第一編 総論・環境・土壤の物理性」より引用。)

○生産資材課で堆肥や緑肥の販売をしておりますので、
気軽にお問い合わせください。

シリーズNO.43 おいしい米づくり

=令和5年の主な水稻病害虫の発生状況(その1)=

1 育苗中の障害

本年は、種後はやや曇天が多く、日中の気温が急激に上昇することが少なく、障害の発生は少なかった。育苗中期以降も、病害の発生も特に見られず、健苗での移植につながりました。



写真1 育苗中のムレ苗

2 初期の害虫

本年も、イネドロオイムシやイネミズゾウムシの発生は、少なく経過しました。

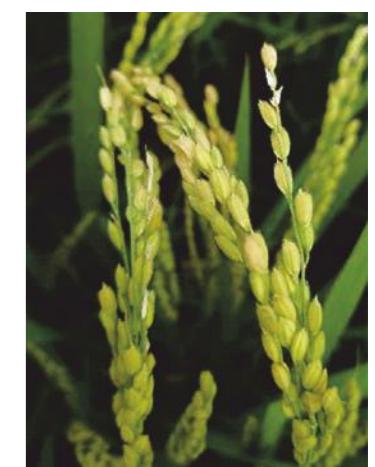


写真2 イネキモグリバエ(イネカラバエ)被害と思われる粉の退化

3 ウンカ類

すくい取りでも発生はほとんど見られませんでした。

4 アカヒゲホソミドリカスミカメ

6~7月で降雨の少ない時期が多く、雑収地や畦畔での発生が多く、出穂直後は水田への飛込みも目立ちましたが、その後はあまり目立った発生はなく経過しました。

5 イネキモグリバエ(イネカラバエ)

昨年のような葉先の黄化は、目立ちませんでしたが、出穂後幼虫による食害と思われる退化した粉が広範囲で見られました。現状では、減収には結びついていないと思われますが、次年度も発生動向に注視します。



令和5年11月からの営業時間一覧表

	本所 厚真支所	上厚真 事業所	早来 支所	追分 支所	穂別 支所	白老 支所	苦小牧 支所	ホクレンショップ 苦小牧店/沿/端店 しらかば店	生乳 検査場	死亡牛 処理
一般業務	平日 9:00~17:00	—	9:00~17:00	9:00~17:00	9:00~17:00	9:00~17:00 (12:30~13:30休業)	9:00~17:00	—	持込 12:00まで	9:00~17:00
	土曜日 (1~3月休)	9:00~12:00	—	9:00~12:00	9:00~12:00	9:00~12:00	休業	9:00~12:00	—	持込 10:00まで
金融業務 (平日のみ営業)	平日 9:00~16:00	—	9:00~16:00	9:00~16:00 (12:30~13:30休業)	9:00~16:00	9:00~16:00 (12:30~13:30休業)	9:00~16:00	—	—	—
A T M (祝日は休業)	平日 9:00~18:00	9:00~18:00	9:00~18:00	9:00~18:00	9:00~18:00	—	—	9:00~21:00 しらかばのみ9:30~20:00	—	—
	土曜日	9:00~12:30	9:00~12:30	9:00~12:30	休業	9:00~12:30	—	—	9:00~17:00	—
	日曜日	休業	休業	休業	休業	休業	—	—	9:00~17:00	—
生産資材	平日 9:00~17:00	—	9:00~17:00	9:00~17:00	9:00~17:00	9:00~16:00 (12:30~13:30休業)	—	セブンイレブン・ ローソンATMの 取扱時間	—	—
	土曜日 (1~3月休)	9:00~12:00	—	9:00~12:00	9:00~12:00	9:00~12:00	休業	—	—	—
農機車両 センター	平日 9:00~17:00	—	—	—	9:00~17:00	—	—	平日8:00~22:00 土曜8:00~21:00 日曜8:00~21:00 祝日8:00~21:00	—	—
	土曜日 (1~3月休)	9:00~12:00	—	—	—	9:00~12:00	—	—	—	—
給油所	平日 8:00~18:00	8:00~18:00	8:00~18:00	8:00~18:00	8:00~18:00	8:00~18:00	—	手数料110円/回 の取扱時間 平日8:45~18:00 土曜9:00~14:00	—	—
	土曜日	8:00~17:30	8:00~17:00	8:00~13:00	8:00~13:00	8:00~17:30	—	—	—	—
	祝日 8:00~17:00 (1/1~3/31休業)	休業	休業	休業	8:00~17:00 (1/1~3/31休業)	—	—	上記取扱時間以外 及び日曜・祝日の 手数料220円/回	—	—
	日曜日	休業	休業	休業	休業	休業	—	—	—	—
Aコープ (1~3月は祝日休業)	平日 9:00~18:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	土曜日	9:00~17:00	—	—	—	—	—	—	—	—
	日曜日	休業	—	—	—	—	—	—	—	—

※1月~3月の毎週土曜日は本支所の金融、共済、生産資材、農機具センター、一般事務の営業を休止とします。(給油所、Aコープ、ATMは営業)

※上厚真生産資材店は10月末日を以て閉店とさせて頂きます。

News & Topics from JA

JA からのお知らせ

J A 日誌

2023 10月

16日(月)	第10回理事会
17日(火)	大卒採用試験(第3クール)、共済連運営委員会
18日(水)	日胆地区女性部理事会
19日(木)	第9回企画会議
20日(金)	
21日(土)	もぎたて市部会 第50回みんなの消費生活展(苫小牧)
22日(日)	
23日(月)	
24日(火)	JA役員研修～25日(札幌近郊)
25日(水)	JA日胆地区女性部長研修(北広島)
26日(木)	
27日(金)	
28日(土)	広域青年部婚活イベント(厚真町)
29日(日)	白老町議会議員選挙
30日(月)	
31日(火)	

2023 11月

1日(水)	白老支所・追分支所金融効率化店舗への移行
2日(木)	第2回役員定数審議会
3日(金)	
4日(土)	
5日(日)	
6日(月)	新任理事研修～8日(JAカレッジ)、 農業支援協議会(調整中)
7日(火)	カルビーポテトチップス サンギ味 JAとまこまい広域 とのコラボ発売、JA北海道大会実践フォーラム
8日(水)	JAおとづけ役員研修来所
9日(木)	JA北海道女性リーダー研修会、家の光大会～10日(札幌)、 常勤監査監査研究会～10日(札幌)、生産組織意見交換会(予定)
10日(金)	
11日(土)	
12日(日)	4地区青年部合同「婚活イベント」(札幌)
13日(月)	みのり監査法人期中監査II～15日
14日(火)	厚真支所廃プラ回収～15日、4地区理事研修
15日(水)	ホクレン肉牛市場、4地区監事協議会道内視察研修会 ～17日(旭川・富良野方面)

お悔やみ

謹んでご冥福をお祈りいたします。



月 日	地 区	氏 名	享 年
8/30	苫小牧市	佐藤 健児さん	89
9/1	安平町	赤坂欽一郎さん	77
9/2	厚真町	山田喜代治さん	74
9/21	厚真町	澤田 征春さん	85
9/24	むかわ町	藤岡 茂市さん	89
9/27	厚真町	菊地 春治さん	79

職員異動

依頼退職 お疲れ様でした

9月30日付

企画管理部 中塚 実花 令和2年4月1日入組
企画管理部管理課係を務め退職

ホクレン南北海道黒毛和種市場 広域農協支所別取引成績(9月)

令和5年9月13日

	性別	成立頭数(頭)	価格平均(円)	平均日齢/体重(kg)	平均kg/単価(円)
白 老	去勢	25	546,880	1.105	1,644
	雌	11	443,636	1.074	1,389
苦 小 牧	去勢	4	578,500	1.124	1,708
	雌	4	504,750	1.002	1,641
早 来	去勢	34	578,618	1.176	1,660
	雌	19	376,316	0.983	1,234
厚 真	去勢	18	529,389	1.159	1,580
	雌	20	440,300	1.054	1,370
穂 別	去勢	30	585,400	1.202	1,701
	雌	16	441,438	1.106	1,331
追 分	去勢	3	551,333	1.201	1,609
	雌	3	391,333	0.984	1,252
とまこまい 広 域	去勢	114	564,947	1.163	1,656
	雌	73	425,918	1.043	1,340
胆 振 管 内	去勢	218	575,881	1.157	1,716
	雌	141	447,447	1.042	1,419
市 場 計	去勢	906	534,506	1.121	1,626
	雌	651	418,656	1.016	1,360